



毎月、地域でおもしろいことをしている  
北区の団体や人に会いにいこうよ！  
3月はどんな出会いがあるかなあ？

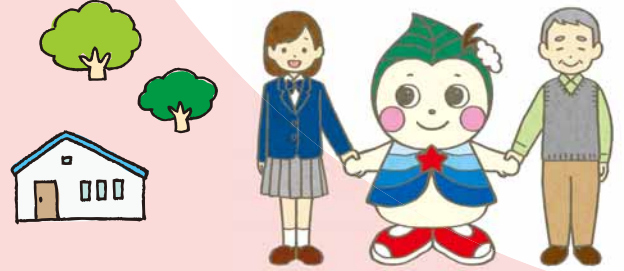


## 北海道札幌あいの里 高等支援学校

同校は「地域と共に歩む教育活動」の実現を目指し、さまざまな地域活動を行っています。今回は、同校の伊藤 友紀校長にお話を伺いました。



▲あいの里教育大駅前の花壇に花を植える様子



▲同校の生徒と町内会の方々と花植え作業。記念にパシャリ

令和4年には、花植え活動が地域環境美化に貢献していると評価され、北区クリーンさつぽろ衛生推進協議会から「北区ボランティア活動実践者」表彰を受けました。

「町内会の方が優しく教えてくれて花壇を完成できた」「花壇を見た人々が笑顔になってくれたらうれしい」と話しています。生徒たちの成長につながっていると感じますね。

—地域とはどのような関わりがありますか？—  
毎年春に、本校の生徒と拓北・あいの里連合町内会の皆さんで、JR駅前や公園などの花壇に花を植えています。参加した生徒たちは「町内会の方が優しく教えてくれて花壇を完成できた」「花壇を見た人々が笑顔になってくれたらうれしい」と話しています。生徒たちの成長につながっていると感じますね。

—どのような学校ですか？—  
通学型の特別支援学校高等部で、知的障がいのある生徒の自立と社会参加を目指した教育を行っています。学校周辺で行う作業学習やインターンシップでは、地域の方々と関わることも多いです。

—学校と地域の協働は、どんな影響があると思いますか？—  
生徒たちにとっては、学校の中では学べないことを経験できる貴重な機会です。保護者や教員以外の大人と協力して何かを成し遂げたり、成果を評価してもらうことはとても励みになります。また、実際にその地域で生活する方と関わることは、生徒たちの将来像や目標づくりにもつながります。



▲「あいcircle」での出展の様子

—他にも地域との交流の機会がありますか？—  
学習成果の発表の場として、年に2回「あいcircle」という行事を開催します。生徒が作った製品の販売やカフェ営業などを行います。地域の方々にもご参加いただけます。例えば、地域の飲食店や本校卒業生の就労先の事業所の出店、地域の方の活動発表、行事運営自体に北海道教育大学や北海道医療大学の学生さんが関わるなど、多くの地域の方々との協力と支えで成り立っているんですよ。

—今後の意気込みを教えてください。—  
「地域の方に協力してもらう」のではなく「お互いに支え合う」環境を築いていきたいです。ご高齢の方が多く地域ですので、例えば、災害時の避難所運営など、生徒が地域の方を手助けできる場面もあると思います。本校の生徒が積極的に地域に関わっていきけるように、これからも「地域と共に歩む教育活動」を推進していきたいと思っています。

また、今年の「あいcircle」(7月、11月開催予定)ではさらに多くの方に楽しんでいただきたいです。皆さんのご来場をお待ちしています！

また、今年の「あいcircle」(7月、11月開催予定)ではさらに多くの方に楽しんでいただきたいです。皆さんのご来場をお待ちしています！

地域の方々にとっても、幅広い世代間の連携のきっかけになっていると嬉しいです。

【問い合わせ先】  
北海道札幌  
あいの里高等支援学校  
☎ 770-5511




▲学校HP ▲「あいcircle」(Instagram)



▲伊藤校長